

～社会が抱える問題の本質を古典から考える～

第8回

アスペン現代社会セミナー

2024年度テーマ

日本人にとって公共とは

—国家、企業、市民社会—

我々が生き、我々の日々の活動を取り巻く現代社会は、長引く戦争や諸国家間の緊張の高まり、ポピュリズムの台頭、格差の拡大等、様々な問題に直面しています。このような問題をどのように理解し、どう対処して未来につなげていくのか。

アスペン現代社会セミナーは、人間とは何か、よい社会とは何か、リーダーとしてよく生きるとは、というアスペン・セミナーの精神を大切にしつつ、特に「社会と組織の中に生きる人間」に焦点を当て、東西の古典をテキストに、対話を通じて現代社会が抱える問題の本質を考えていきます。

その目標は、リーダーとして活躍される方々が、高い視座からの洞察力を涵養し、また人間性（ヒューマニティ）の理解へのたゆまぬ努力を通じて、日常的でないものにぶつかったとき、即座に適切に対応できる賢慮と実践知を育むところにあります。



プログラム・ディレクター兼リソース・パーソン
猪木 武徳 先生

（大阪大学 名誉教授、日本アスペン研究所 理事）

Coプログラム・ディレクター兼モデレーター
押村 高 先生

（青山学院大学 国際政治経済学部教授
日本アスペン研究所 諮問委員）



【開催日】 2024年9月6日（金）～9月8日（日）

【会場】 LINK FOREST（東京都多摩市鶴牧 3-5-3） <https://link-forest.jp/>

【セミナーの特長】

経済学、政治学、経営学の分野における優れた講師陣、そして元企業経営者が通して対話に参加します。膝詰めの多面的な対話を通して、深い気づきを得ていただけるものと確信しております。

また、すでにアスペンの各種セミナーに参加された方にとっては、「アスペン現代社会セミナー」は、古典との対話の経験が、現代の課題とより具体的に結びつき、さらに深い思索へと導いていく大きな原動力になるものと考えます。

【対象】

これからの経営の中核を担う方々や経営幹部、経営戦略/企画部門責任者、NPO 幹部等を募ります。既にアスペン・セミナーに参加された方々も歓迎いたします。対話という性質上、原則 20 名とさせていただきます。

【スケジュール】（予定）

	1日目 9月6日(金)	2日目 9月7日(土)	3日目 9月8日(日)
朝食			
午前の部		8:30~11:50 セッションⅡ 「デモクラシー」	8:30~11:05 セッションⅢ 「市場と組織」
昼食			11:05~12:00 セッションレビュー
午後の部	13:00~14:20 オープニング・セッション 自己紹介 オリエンテーション	12:50~13:35 つづき 13:35~14:30 セッションレビュー	13:00~15:00 総括セッション
	14:30~17:50 セッションⅠ 「ヒューマニティ」	自主研修 15:30~18:15 懇話会	
	18:05~19:00 セッションレビュー		
	19:10~20:00 夕食	18:30~20:00 夕食	

【テキスト】

アリストテレス『ニコマコス倫理学』、アダム・スミス『道徳感情論』、福澤諭吉『文明論之概略』、プラトン『国家』、ベネディクト・アンダーソン『想像の共同体』、マックス・ヴェーバー『職業としての政治』、フリードリヒ・A・ハイエク『法と立法と自由Ⅲ 自由人の政治的秩序』、ケインズ『自由放任の終わり』、アンドリュー・カーネギー『富の福音』などの作品からそれぞれ抜粋した全 12 テキストです。

【これまでに交わされた主な論点】

- ・ 思慮とは行為を伴うものであり、単に思索を巡らせることと、行動することには大きな溝がある。溝を越えるには、感情を陶冶することが必要ではないか。
- ・ 習慣は人間を強力に支配するが、道徳規範の根源である場合もあり一概に否定できない。習慣はどこまで変えてよいのか。
- ・ 現代社会において、スミスのいう「同感」が麻痺していないだろうか。また「同感」の範囲は、どこまで広げられるだろうか。
- ・ デモクラシーを健全なものとするには、関心のある情報だけを求めるのではなく、嫌な情報にも耐える力が必要ではないか。
- ・ アメリカを考えるうえで重要なのは、日本というより、アメリカの方が特殊な国であるということ。

【モデレーターおよびリソース・パーソン】

「モデレーター」は、参加者間の対話を活性化すると同時に、対話の流れを適切な方向に導きます。

「リソース・パーソン」は、各専門の立場から対話の質を高め、実り多いものとするため、節度ある助言を行います。



猪木 武徳 先生（プログラム・ディレクター）
（大阪大学 名誉教授、経済学、日本アспен研究所 理事）

京都大学経済学部卒業。

マサチューセッツ工科大学大学院博士課程修了。大阪大学教授・経済学部長、国際日本文化研究センター所長などを経て、現職。

著書に『経済思想』、『自由と秩序』、『増補 学校と工場』、『経済成長の果実』、『戦後世界経済史』、『自由の思想史』他。



押村 高 先生（Coプログラム・ディレクター）
（青山学院大学 国際政治経済学部教授、日本アспен研究所 諮問委員）

1979年早稲田大学政治経済学部卒業、1997年早稲田大学博士号取得、1999年教授（至現在）。2012年～2016年青山学院大学国際政治経済学部長、2015年～2018年青山学院大学副学長。2019年～2021年パリ国際大学都市日本館館長（外務省ミッション）

専門は、政治思想史、国際関係思想史、フランス政治。

著書：『モンテスキューの政治理論』、『国際政治思想』、『国際正義の論理』など。



高橋 文郎 先生
（青山学院大学 名誉教授、経営学）

1977年東京大学教養学部教養学科卒業、1982年ペンシルベニア大学ウォートンスクール経営学修士、株式会社野村総合研究所等を経て、2004年青山学院大学大学院国際マネジメント研究科教授、2007年～2015年同研究科研究科長。専門は、企業財務論、証券投資論、ベンチャー投資論、企業倫理。

著書：『ビジネスリーダーのフィロソフィー』、『コーポレート・ファイナンスー基礎と応用ー』など。



雨宮 寛 氏
（元東京海上ホールディングス株式会社代表取締役副社長）

1973年一橋大学法学部卒業、東京海上火災保険株式会社入社、2003年同社執行役員経営企画部長、2005年同社常務取締役、2008年東京海上ホールディングス株式会社専務取締役、2010年同社取締役副社長（代表取締役）、2013年損害保険料率算出機構専務理事、2015年同機構退任。

【対話の進め方および事前準備について】

『対話（ダイアログ）』は、議論やディベートとは異なり、テキストの特定の箇所に対する『気づきや洞察（見方や考え方）』をご発言いただき、モデレーターがリードし対話を進めます。また、セッションレビューや総括セッションでは、各テキストのポイントを共有し、**現実的課題への思索の糧**にさせていただきます。そのためには、事前の読み込みが大変重要になります。自分なりの考えなどを意識しながらテキストを読み込んでいただきます。さらに、可能であれば、著者の主張について、その背景や理由などを調べると読み込みの助けになります。

【懇話会】 <2日目午後に開催>

講演者：猪木 武徳 先生 大阪大学 名誉教授／日本アспен研究所 理事

押村 高 先生 青山学院大学 国際政治経済学部教授／日本アспен研究所 諮問委員

ディスカッサント：高橋 文郎 先生、雨宮 寛 氏

懇話会題目：日本人にとって公共とは -国家、企業、市民社会-

《要旨》

戦後しばらく、日本人には公共問題への関与に対する躊躇いがあった。滅私奉公の形で公共が国家に独占されていた記憶がのしかかり、公共精神が国家に対する忠誠と等視されていたトラウマを拭いされない人が多かったためであろう。あるいは、「国家へ税金を納めているのだから、公共問題の対処は政府の責任だ」と考えがちだったからかもしれない。

しかし、国や官とイコールではなく、いわば下から築き上げる公共が、日本でも市民社会を舞台に育ちつつある。地域、職場、学校などの身近な領域で、被災地救援 NGO などへの参加をきっかけに、市民の公共に対する関心の在り様に変化し新しい公共概念が定着した、とみる人もいる。

本セミナーでは、スミス、トクヴィル、福澤、ケインズ、ハーバマスなどの公共概念に参照しながら、あわせて公共性へのアプローチが欧米と日本ではどのように異なっているのか、日本ではなぜ公共というと国や官を連想してしまうのかを考察する。さらに企業の持つ公的な側面や社会的な責任、デモクラシーと公共精神、メディアと公共圏、地球環境などグローバルな公共問題解決のために日本がなすべき貢献、などのテーマについて対話を進めて行きたい。

【参加料金】

正会員企業、フェローズ会員	:	305,000 円/人	
賛助会員企業、アспенセミナー卒業生	:	328,000 円/人	
非会員企業	:	350,000 円/人	(各税別)

【お支払方法】 参加確定後、請求書をご送付いたします。請求書に記載の期日までにお振込みください。

【申込締切日】 一次締切:6月25日(火) 二次締切:7月24日(水)

【参加確定について】

- ・ 一次締切の翌営業日もしくは翌々営業日に参加確定の通知をメールいたします。
- ・ 参加者ご派遣の意向があり、該当者がまだ確定していないという場合、ご予約を受付けます。一次締切以降も、二次締切迄の予約の継続は可能ですが、予約継続中に予約をリリースされた場合は、予約リリース料を申し受けます。
- ・ 一次締切以降は、申込みと予約以外の残席について、定員に達するまで、もしくは二次締切まで、先着順で受付け、順次参加確定の通知を差し上げます。
- ・ 一次締切の時点で予約も含めて定員を超えた場合は、会員企業からのお申込を優先させていた

だきます。

- ・ 同一企業からのご参加は、人数を制限させていただく場合がございます。

【テキスト送付時期】 ご参加確定後ただちに送付いたします。

【キャンセル料金】

お申込み後キャンセルされる場合につきましては、以下のとおりキャンセル料金を頂戴いたしますので、ご了承ください。

参加確定通知後テキスト発送済みの場合	¥ 30,000(税別)
セミナー開催 45 日前～開催 8 日前 (開催日初日を含まず起算)	参加料金の 3 割(税別)
セミナー開催 7 日前～開催 2 日前 (開催日初日を含まず起算)	参加料金の 4 割(税別)
開催日前日および開催日当日	参加料金の 5 割(税別)

※参加確定通知後テキスト未発送の場合は、2 万円(税別)を申し受けます。

※本セミナーは、事前に多量のテキストをお読みいただいたうえでご参加いただけます。そのため、キャンセルが発生しても追加募集することが難しいこと、また外部施設を会場としていることもあり、施設に対する違約金も発生することから、お客様のご都合によるキャンセルには、上記のようなキャンセル料金を設定させて頂いております。何卒ご了承ください。

【予約リリース料金】

一次締切日以降に予約を取り消した場合は予約リリース料 2 万円(税別)を申し受けますので、ご了承ください。

【開催中止の場合】

セミナーへの参加お申込人数が原則 12 名に満たなかった場合、または、台風等の自然災害時に交通機関の運行状況等を考慮した結果、やむを得ずセミナーを中止する場合がございます。中止を決定した場合には、すでにお申込みいただきましたお客様には速やかにご連絡を申し上げ、ご入金された受講料を返金させていただきます。

【お申込み方法】 下記当研究所ホームページ内のリンクからお申込みください。

<https://www.aspeninstitute.jp/seminar/gendai/>

一般社団法人日本アスペン研究所(渡辺・田治)
〒106-0032 東京都港区六本木 6-15-21 ハークス六本木ビル2階
E-mail: ag-s@aspeninstitute.jp / TEL: 03-6438-9208